

県医労新聞

2018年10月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>
編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1940号(月刊154号)



みちのくアクト in 岩手(9月7日～9日 ホテル紫苑)

目次

- 1 P 岩手医労連第71回定期大会
いわて労連第30回定期大会
 - 2 P 看護要求実現全国交流集会
いのちを守るキャラバン行動
「わたしの超勤手帳」
 - 3 P～4 P 青年部ニュース
 - 5 P 女性部ニュース
 - 6 P つぶやき、とんがらし
8月号パズル当選者
 - 7 P お知らせ
 - ◇岩手医労連壮年部集会
 - ◇県医労中央決起集会
- 懸賞パズル 10・11月の予定



「第64回日本母親大会 in 高知」全体会(8月25日 高知県民体育館)

なかまを増やして

働きやすい職場をつくらせていこう

岩手医労連が定期大会開催

岩手医労連の定期大会が8月25日(土)から26日(日)、花巻市「ホテル志戸平」で開催され、2018年度の運動方針と新役員体制を確立しました。



15単組・分会から参加し活発な討論がされた



発言する〇〇中執(上)、
〇〇書記次長(下)

運動方針の討議では、長い間要求し続けてきた栄養科・調理師3名の正職員化を勝ち取った岩手民医労、新築に伴い「おとめ川病院」と名称変更となった胆江病院労組、月16回の16時間夜勤が常態化している盛岡南病院労組、ストライキをかまえた団体交渉で人権に拠らない引き上げを勝ち取り、来年の病院移転を前に業務量が増大している医大教職組など各単組の状況と、たかひの教訓、決意が報告

されました。県医労からは、「12時間二交代」の問題、中央病院へ労働基準監督署の指導が入った状況と不払い労働一掃への取り組みの決意が語られました。

予算案については、青年部活動への財政的支援など、積極的な議論がされました。新体制として県医労から〇〇中央執行委員長が委員長に、〇〇書記長が執行委員に選出されました。

大会では沖縄知事選と西日本豪雨災害へのカンパが取り組まれ、青年部役員がみちのくアクトの財政活動を行い、冷麺や日本酒など、2日間で完売しました。

8時間働いて暮らせる社会を! いわて労連第30回定期大会

いわて労連は9月1日(土)、第30回定期大会を「盛岡市勤労福祉会館」で開催しました。

運動方針の提案を受けた討論では、ローカルユニオンに加入して団体交渉をした経験、西日本豪雨災害へのボランティア参加、大企業の内部留保が400兆円を越えるもと、3割カットで子会社へ配転され、低賃金改善のため要求を突きつけて闘っている様子など20人が発言。予算案を含め満場一致で採択されました。新役員体制では、引き続き〇〇・県医労特別執行委員が議長に、中野委員長が副議長に、〇〇〇特別執行委員が幹事に選出されました。沖縄知事選の応援として〇〇議長が派遣されることが報告され、カンパが取り組ま

れました。機関紙コンクールの表彰では、最優秀賞はなく、優秀賞の3団体の1つに南光支部機関紙が選ばれ、同支部〇〇支部長が受け取りました。

来賓には、仲野智全労連常任幹事、佐々木弁護士・憲法改悪反対県共同センター代表、木戸口自由党参議院議員、斉藤日本共産党県議が出席しあいさつ。安倍改憲を許さず、市民と野党の共同を進めようとエールが交わされました。



機関紙コンクールで南光支部が優秀賞に



講演する
田中千恵子さん

看護闘争の歴史が今につながっている

～看護要求実現全国交流集会～

日本医労連主催の「2018年度秋・看護要求実現全国交流集会」が、9月4日から5日まで、静岡県伊東市で開催され、県医労から3名、全国から165名が参加しました。

記念講演は「看護闘争を前へ〜これまでのたたかいから学ぶこと〜」と題して、日本医労連元中央執行委員長の田中千恵子さんが講演。看護師という仕事について、救命救急対応が命を救った事例や、故・小林麻央さんのブログ・看護師さんⅡ「ほんの数日間の付き合い、ほんの5分の会話で私の人生を前向きに変えてくれた人」を紹介し、時代は変わっても看護や運動の本質は変わらないのではないか、と提起。看護闘争の歴史が、先の大戦で従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「再び白衣を戦場の血で汚さない」決意で始まったこと、

1960年代の結婚・通勤の自由、妊娠制限の撤廃を求める人権闘争、複数・月8日以内の夜勤制限闘争、そして1989年以降ナースウエーブの時代へと引き継がれたと紹介。A1(人工知能)の時代になっても看護・介護は人手、労働環境3A(安全・安心・明るい)へと進化めざし、明るく、楽しく、元気よく、歴史を変えて行きますように結びました。

特別報告は、「二交代夜勤撤回について」「夜勤協定を守らせる運動」「署名の推進について(右写真)」があり、2日目は分科会で交流しました。



初めて署名に参加する新人さんを想定した長野の寸劇

わたしの超勤手帳

不払い労働の一掃 みんなで取り組みを!

「わたしの超勤手帳」は届いていますか?

県医労は、10月1日から15日までを、全支部一斉記録期間として、すべての組合員が、

わたしの超勤手帳



この「手帳」に時間外をきちんと記載することにしました。始業前、昼休憩の休めなかった時間、終業後の時間外をもれなく記載しましょう! 時間外請求に対する不当な言動は、支部・本部で、交渉を強めます。

秋から署名が新たにスタート

「夜勤改善・大幅増員署名」

～県内5カ所・10月7日(日)今年もやります～

- @盛岡：野村証券前(12:00～13:00)
⇒県医労7名
- @花巻：北上イトーヨーカドー(12:00～13:00)
⇒中部5名
＜以下、11:00～12:00＞
- @奥州：コープアテルイ
⇒胆沢5名、江刺3名
- @一関：コープコルザ
⇒磐井5名、南光5名、千厩3名、大東1名
- @釜石：マルイチサンパルク店
⇒遠野3名、釜石5名、山田1名、大槌1名

ご参加
お待ちして
います!



踊って、飲んで、交流して♪ アクトの出逢いを宝物に みちのくアクト in 岩手



みちのくアクトに参加した現地「岩手」の参加者と実行委員

9月7日～9日の3日間、つなぎ温泉「ホテル紫苑」を会場に、みちのくアクト（日本医労連東北地方協青年交流会）が開催され、東北6県から青年119名が集まりました。岩手からは55名、県医労は8支部・本部15名が参加しました。

1日目の開会式は、「共生」をテーマにしたオープニングムービーと余興でスタート。特別講演では、講師の太田宣承さん（碧祥寺住職）が「一人十色の人生観」と題して講演され、人との接し方、寄り添うことの大切さを学びました。夕食交流会の班対抗「二人羽織でわんこそば大会」はタイムを競い合い、参加者全員で楽しく交流しました。

2日目はオブショナルツアー。小岩井農場では、各セクションに用意された問題を班で協力して解き、景品獲得をめぎしました。手

づくり村では、4つの体験コースに分かれて伝統文化にふれ合いました。アクト最大のイベントである夜祭りでは、各県のユーモアあふれる余興で全員が一緒に歌って、踊って大いに盛り上がりました。

最終日の閉会式では、各班が写真の中から「極みの1枚」を選び、代表がスクリーン上の写真を紹介しながら、アクトをふり返り、より一層絆を深めました。アクトフラッグは岩手から青森へ引き継がれ、来年の北海道での全国アクト、再来年の「みちのくアクトin青森」での再会を誓いました。

アクト開催にあたり、岩手医労連青年部は昨年11月にアクト実行委員を結成。県医労も5人を実行委員として派遣し準備をすすめて、無事成功を収めることができました。

夜祭り

楽しんでない
ヤツいねが~

秋田なまはげも
登場!

1日目

♪ みんなでイカ踊り♪



栗石あねつこに扮した
開会式司会



♪ どんどん♪

じゃん
じゃん
じゃん



2日目



手づくり村「藍染め」体験コース



雨三モマケス、
オブショナルツアー!

宣承さんと
ツーショット



水上ハムスター!

県外の仲間たちも大変な労働条件のなか、頑張っているの聞き、元気づけられました。

一戸支部 ○○ ○

企画運営の立場に関わりました。みなさんに楽しんでもらえるように準備を重ね、アクトを成功させることができました。次は、全国アクトにも参加したいです。

二戸支部 ○○ ○○

県内外の医療関係の方と交流でき、貴重な時間を過ごすことができました。短い時間でも、仕事のことを忘れて、楽しめたので、リフレッシュになりました。

本庁支部 ○○ ○○

たった3日間で深い絆ができました。宣承さんの話に泣いて、笑って、夜祭りでみんなで躍って、最初から最後まで楽しかったです。

磐井支部 ○ ○○

最初の班交流はお互い緊張していましたが、3日間を通して仲良くなり、離れるのが寂しかったです。

南光支部 ○○ ○

班長として参加。オブショナルツアーや班交流を深める中で、班のメンバーも私も楽しむことができました。来年の北海道、再来年の青森でのアクトにも参加して、アクトでの出逢いを私の宝物にしていきたいと思います。

南光支部 ○○ ○○



「みちのくアクト」の旗は、次の開催地・青森へ

第64回日本母親大会 in 高知 8月25・26日

女性参政権
発祥の地で

憲法を守りぬくパワーあふれる



全体会場の高知県民体育館を埋めつくす参加者



今日の運動で、横断幕を持つ県医労組員

記念講演



憲法とともに歩みつづける

～子どもの未来・くらし・平和～

渡辺 治さん

(一橋大学名誉教授)

憲法は誕生してから、何度か改悪の危機を乗り越えてきた。それが軍事化の歯止めになって来た。いま、再び安倍政権に改悪されようとしている。安倍首相は、市民と野党の共闘に恐ろしさを感じている。改憲を許さないために、3000万署名を文字どおり3000万になるまで、あきらめずにがんばりましょう。そして、来年の母親大会で「私たち、やったよね！アベつぶしたよね」と言える大会にしましょう。

8月25・26日、第64回日本母親大会が高知県で開催されました。大会には2日間でのべ8300人、岩手からは57人、県医労からは6支部・本部14名(家族含み)が参加しました。

1日目の全体会は、躍動感あふれる「清流太鼓」で開幕。今日の運動では、岩手から被災地の現状を発言し、県医労の参加者が横断幕を持ち、登壇しました。

大会に参加した組合員からは、「オープニングの太鼓、文化行事のよさこい鳴子踊りなど、迫力があり、テンポもよく感動しました」「講演を聞いて、誰かがやるのを待つのではなく、私たち一人ひとりが動かなければならな

いことを実感しました」「平和を維持するためにも憲法は大切」「去年は岩手で、今年は高知でエール交換ができて感動。女性参政権発祥の地・高知で、パワーをもらいました」などの感想が寄せられました。



左＝オープニングの『清流太鼓』。右＝ジャズダンスにアレンジした『よさこい鳴子踊り』



てびやま

職員は減っているのに補充がない。その分、委員会や係などの仕事が増える現状にぐったり。

中部支部 スイカがおいしい

猛暑日が続いた今年の夏。冬はどうなるんだろうと、今から不安になります。あまり雪が降らないといいのですが。

久慈支部 ジョンママ

子どもよりお年寄りがほとんど多くなつて、病院は必要不可欠なのに、働きたいと思える病院がない。もつと働きたいと思えるような病院にしてほしい。

中央支部 ランちゃん

里帰り出産を終え、盛岡に帰ってきた。今まで親に助けられていたんだと実

感。育児楽しんでいけるといいな。

中央支部 n i m i y

今年は暑かった！地球はどうなつていくのでしょうか？

久慈支部 ライム

夏休みを利用して夫と東京の寺廻りをした。地図で見れば近くに見える寺は、登り下りの大修行だった。しかも気温37度超え。生きて帰れてよかった。

江刺支部 首に麻酔を打つ女

当選者発表

8月号パズル

8月号パズル「まちがい7つ」には31名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

働き方改革で何が変わったんでしょうか。超勤も書きづらい状況で、何も変わらない…。

中央支部 カービィ



■8月号当選者(敬称略)

まんぼう、ももま、にやん吉郎(以上、中央支部)、昭和生まれの母(中部支部)、みかん娘(江刺支部)、ぱんだ(磐井支部)、折鶴(南光支部)、みーちゃん(大東支部)、ジャンボうさぎ(大船渡支部)、やつてられない(山田支部)

とんがらし

ワーク・ライフ・バランス(WLB)とは、一言でいえば「生活と仕事の調和・調整」。「生活の充実によって仕事がかう進む、仕事がかう

まくいけば、私生活も潤う」といった、生活と仕事の「相乗効果」とされている▼日本看護協会からも、看護職のWLB推進ガイドブックが出され、「多様な勤務形態」を中心とした、働き続けられる職場づくりへの取り組みや、それを支える制度について紹介されている。ガイドブック冒頭では「もし、幸せじゃない看護職が看護をしたら、患者さんは不幸、病院は不況」「幸せの連鎖は、看護職のWLBから始まります」とし、看護職の働き方改革のキーパーソンは看護部長だと説

明されている▼医療局も多様な勤務形態の運用をすすめ、現在は「12時間二交代」を必死で拡大しようとしている。看護部全体のBSCでも「12時間二交代」の増加を目標に掲げ、あたかも希望している職員の願いを叶えるかのように試行及び実施に前のめりになっている。しかし、純粹にやりた

(り)

秋年末闘争要求実現 県医労中央決起集会

2018年

11月2日(金)

10:00~12:00

水産会館5階大会議室

がんばろう!



職場改善のため、団結して声をあげよう!



岩手医労連 壮年部集会

とき 11月3日(土)~4日(日)

ところ ホテル紫苑

記念講演 千葉 星子さん
(IBCテレビレポーター・料理研究家)

年金講座 小野寺 栄悦さん
(岩手自治労連 中央執行委員長)



懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違った箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送りは先が020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は10月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ



まちがいはい7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!

10月の予定

- 1日(月) 精神医療関係労組全国交流会(2日目、倉敷市)
- 6日(土) 岩手医労連青年部第38回定期大会(勤労福祉会館)
- 11日(木) 「憲法・いのち・社会保障をまもる10・11国民集会」(日比谷野音)
- 13日(土) 県医労第160回中央委員会(エスポワールいわて)
- 14日(日)~15日(月) 2018年共済推進全国交流会(福岡県)
- 19日(金) 岩手医労連女性部第32回定期大会(県民会館)
- 20日(土)~21日(日) 第6回いわて労連機関紙セミナー(ユートランド姫神)
- 27日(土)~28日(日) フレッシュセミナー(ホテル志戸平)
第63回はたらく女性の中央集会 in ヒロシマ

11月の予定

- 2日(金) 県医労中央決起集会(水産会館)
- 支部長会議(水産会館)
- 3日(土) 秋の県民集会(サンビル)
- 3日(土)~4日(日) 岩手医労連壮年部集会(ホテル紫苑)
- 11日(日)~12日(月) 災害対策全国交流会2018 in いわて(大槌町)
- 16日(金)~17日(土) 県医労職制組合員集会(優香苑)
- 25日(日)~27日(火) 青年部結成60周年記念企画
~神戸・大阪USJへの旅~

